

予告 2023年1月号より連続連載いたします。

わが矯正人生を振り返って ～現役矯正職員に伝えたいこと～①序章

元横浜刑務所長 かめい 亀井 ふみひろ 史丞



一、天の声

私は、本年4月30日をもって81歳になりました。お陰で、現在も元気に地区社会福祉協議会長として地域福祉の充実に努めています。この度、表題で執筆依頼がありました。「お前には、まだ、やり残しがある」と、天の声が聞こえた気がした。しかし、資料も記憶も乏しくなった大昔のことを、老いぼれが書いても失礼になると思い、天の声の方に、丁重に執筆辞退をお願いした。

ところが「先生の現役時代の研修内容は、私たちの心の糧ですよ！みんな泣きながら聞いていましたよ。先生の幅広いエピソードを通じ、職業人としてどうあるべきかを、現役矯正職員に遺してやってください。特に、受刑者に特許権を取らせた件は、矯正の歴史の中で、後にも先にも、先生が取らせたあの一件だけです。あのご経緯を現役矯正職員が知るだけでも、すごく勉強になりますから」と上手に説得され、結局失礼を顧みず紙面を汚すことになった。

二、生い立ち

私は、下半身不随の重度身体障害者の父のもとに生まれた。当時は、福祉も充実しておらず、戦中・戦後の物資不足で、食べるものもなく、いつ死んでもおかしくない貧しい生活だった。そんな厳しい生活の中でも、父は「人間は、人を幸せにするために、尊い命を授かって、この世に生まれてくるのだから、どんな人とも仲良くし、支えあって生き抜くこと」と、私たちが、人の道を外さないよう、励ましなが、義務教育終了まで大切に育ててくれた。

(⇒次号2023年1月号より連続掲載いたします。)

(令和3年11月刑政132巻11号にて掲載)

かめいふみひろ

亀井史丞氏プロフィール

昭和37年3月	広島拘置所管理部保安課看守
平成4年4月	佐世保刑務所長
平成6年4月	横浜刑務所所長
平成8年4月	福岡矯正管区第二部長
平成10年4月	横浜刑務所長
平成12年4月	退職

更生保護ひろしま 第792号

昭和27年8月創刊 毎月1回1日発行 定価35円

編集 「更生保護ひろしま」編集委員会
発行 広島市中区上八丁堀2-31
広島県保護司会連合会
☎(082) 221-4496

本誌内すべての内容の無断転載および複製を禁じます。

料金後納
郵便

更生保護 ひろしま

第792号

令和4年
12月1日発行

第三種郵便物認可
昭和33年3月30日
毎月1日発行

撮影場所／三原市 佛通寺 撮影／吉川水貴 更生保護ひろしま編集委員長

目次

- 令和4年秋の叙勲・褒章受章者のみなさま・・・・・・・・・・2
- 令和4年度広島県更生保護功労者顕彰式・・・・・・・・・・4
- A A中四国地域矯正・保護施設フォーラム開催のお知らせ・・・・・・・・6
- (予告) わが矯正人生を振り返って～現役矯正職員に伝えたいこと～
元横浜刑務所長 亀井史丞氏 連載開始のお知らせ・・・・・・・・8



広島保護観察所 勤務時間外における緊急連絡先

夜間・休日等に事件関係等で緊急に連絡を取りたい場合は下記に御連絡願います。

・保護観察事件等 **090-8990-3261**
・保護司関係 **080-4554-4661**

令和4年 秋の叙勲・褒章 受章者のみなさま

叙勲 瑞宝双光章



西田 志都枝様 (東保護区)

身に余る栄誉を賜りその質があるのかと改めて深く考える時を頂きました。この先も更生保護ボランティアとして努力を重ねてゆける事を有難く目標として参りたいと思っております。心よりのお礼を申し上げます。



渡邊 隆司様 (呉保護区)

この度、叙勲の報を受け驚きと感激でいっぱいです。保護観察所また地区保護司会の皆様のご支援・ご教示を受けたお陰と感謝申し上げます。保護司としては対象者と全力で向き合う中、良好措置になる喜びがある一方、力不足により上手くいかないで悩むこともありました。諸先輩方のご助言や観察官のご指導を受けながら活動いたしましたが、今後とも皆様のお役に立てればと考えています。



前 京子様
(中保護区)

晩秋の文化の日 瑞宝双光章を 拝命いたしました
想い起こせば 義母の 担当しておりました 少女を 貴船原少女園の運動会で初めて面会いたしました この子が 私達の 職場に 数カ月後に 来ました
住み込みで子供と 分け隔てなく寝食共にしここで 成人式を迎えました
初めて着る 振袖は 真面目に働いたお祝いに 母がプレゼント 成人式を 済ませ
写真を 自分の 部屋に 飾って喜んでおりました 間もなくして 母が 心臓
麻痺で あっけなく亡くなりましたが 勤務は続けてくれ伯父が新しい担当 観察期
間が 満了となり 退社して 親元に帰りました私も 引き続き 行く当分の無い
少女を お預かりしているうちに 伯父が中区の 保護司に 推薦 以後今日を
迎えました 中でも 印象に 残るのは 私と出会った彼女がはるばる新幹線で
子供を連れ 結婚の報告に 来てくれたこと 幸せに成りましたと 本当に 嬉し
そうでした 私が 担当した 少年も皆社会人となり 会うこともなく 時々街で
母親に出会うと 立派に社会貢献する 職業に ついて 頑張っていると聞かされ
心から祝福

褒章 藍綬褒章



藤本 誠治様 (呉保護区)

このたび「藍綬褒章」受賞できましたことはひとえに多くの皆さんとの出会いと支えのたまものと感謝いたします。振り返りますと少しでも更生保護に尽力できればとの思いで今日まで活動してまいりましたが自分にとっては活動を通じて信頼関係の重要性を学び自己向上心に結びついたとの思いです。今後も積極的な声かけで人との絆が深まる地域社会を目指したいと考えます。



森永 正憲様 (庄原保護区)

この度、令和4年秋の褒章伝達にて、藍綬褒章を受章し大変恐縮しております。前任の先生のご退任により、推薦を受けて以来、25年の歳月が経過していました。近年の社会情勢の中で「居場所」を見つけようと、懸命に戦っている人を見ると、「声掛け、見守り、支援」が必要と感じます。人間は誰であっても一人では生きていけません。周囲の多くの温かい「力」が必要です。私も、これまで多くの先輩の先生方を始め、関係各位の先生方の力を頂いた結果だと思っております。本当に有り難うございました。合掌



広島県保護司会連合会
会長 八崎 則男

おめでとうございます

このたびの御受章、心よりお喜び申し上げます。皆様の更生保護への多大なる足跡とリーダーシップは私たち保護司の誇りです。今後とも、ご健康に留意され、お力をお貸しくださいますよう、お願いいたします。

令和4年度広島県更生保護功労者顕彰式

令和4年11月11日 広島ガーデンパレス



広島県保護司会連合会
会長 八崎 則男

令和4年11月11日広島ガーデンパレス（広島市）において、本年度の広島県更生保護功労者顕彰式が開催された。

昨年度に引き続き、本年度も新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行い、法務大臣表彰被表彰者以外の方はそれぞれ受領代表者のみの出席として規模を縮小しての開催となった。

当日は、中国地方更生保護委員会三本松委員長及び広島県環境県民局新宅局長を来賓にお迎えし開催された。



法務大臣表彰（保護司）被表彰者

法務大臣
表彰
保護司

受章を受けて

石川 成美（中地区）



大臣表彰をいただき、ありがとうございます。長い保護司活動を振り返り、感慨深く感じ入っています。思い返せば、しんどさより感動の多い日々でした。

つい先日の出来事です。犬の散歩中、工事中のビルの上から「先生一、ひさしぶり！ちょっと待って。」と、声をかけられました。その男性は、軽やかに作業中のビルを降りてきました。

彼は、以前の対象者で、頑張って働いて、郊外に家建てたことや、3人目の子供が生まれたことを、嬉しそうに話してくれます。「俺、社長にも頼りにされて、可愛がってもらってるんで。」と、私を安心させてくれます。

初見の時のふてくされた態度や、徐々に育っていく過程、落ち着いてきて、笑顔が増え、照れくさそうに恋人を紹介してくれたこと。それらが、一度によみがえり、胸がいっぱいになりました。

人は育つ。様々な人との出会いで、いくつになっても育つ。その思いは、感動的な対象者たちの成長ぶりに、信念に近いものになりました。そして、私自身も、彼らに学ぶことが多く、彼らと共に育ってきたという自覚もあります。

私は、心優しい義父が保護司だったこともあって、自分から希望して保護司になりました。そして、保護司として活動するうちに、様々な価値観や生活状況にふれ、驚きや戸惑いもありました。ですが、彼らと共に考え、行動に寄り添うことで、それらもなくなり、それ以上に、人に対してのいとおしさが膨らんでいきました。

ほんの少しのボタンの掛け違い、それだけのことで人生が大きく変わる。そんな人生を目の当たりにして、私の出来ることは僅かでした。それでも、その僅かな力で、彼らを抱きしめて、見つめてきました。

彼らの言葉で、心に残るものがあります。「何かの折に、先生の顔が浮かぶ。先生に心配かけちゃいけない。先生を安心させる生き方せんといけん。」

私の僅かな力は、彼らの良心に届いた気がしました。人の人生のほんの一部、だけど、大切な一部分に関わって、共に生きるという貴重な経験をさせていただきました。

保護司としては、まだまだ至らない私ですが、こんな感動を、たくさんいただけたことに、感謝しています。

そして、こんなに長く保護司活動が続けることが出来たのは、長い目で育ててくださった保護観察所の方々や、先輩諸氏のお力添えの賜物と、深く感謝しています。東京で開催された表彰式にも参加させていただき、友達も思い出も、たくさんできました。本当に、ありがとうございました。

石川成美氏 / 国家公務員（～昭和56年）、広島市教育委員会いじめ不登校対策推進員（平成11年～平成27年）、保護司（平成15年～現在）、人権擁護委員（平成29年～現在）

AA中四国地域 矯正・保護施設フォーラム

イベントテーマ

～アルコール依存症という病気からの回復～

アルコールクス・アノニマス（AA）とは

AAとは、さまざまな職業・社会層に属している人たちが、アルコールを飲まない生き方を手にし、それを持続していくために自由意志で参加している世界的な団体です。AAのメンバーになるために必要なことは、飲酒をやめたいという願いだけです。会費や料金は必要ありません。（『AA早わかり』より抜粋）

この度AA中四国地域では、下記の要領で本フォーラムを開催することにいたしました。識者による基調講演、AAメンバーの体験談、中四国地域においてAAと関わりのある矯正施設や更生保護の方々にお話をいただきます。

飲酒の問題を持つ人と関わる方々、「アルコール依存症という病気からの回復」に関心のある方、日々更生支援に関わり、ご尽力されている保護司の皆様にも参考になるかと思えます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和5年1月20日（金）

13時00分～16時40分（12時30分入室）

基調講演

講師 真栄里 仁 氏

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
精神科診療部長

AA日本・A類（ノンアルコール）常任理事

講師 古川 芳昭 氏

法務省 四国地方更生保護委員会 委員長

主催：AA中四国地域 矯正・保護施設委員会

Z o o m （定員：500名）

ID：733 6222 3547

パスコード：202301



参加費
無料

上記QRコードからもオンライン会場に参加できます。

Z o o m
オンライン
開催



まえさと ひとし
真栄里 仁 氏

久里浜医療センター精神科診療部長

平成8年群馬大学卒業、同年沖縄県立中部病院卒後臨床研修入職、平成10年琉球大学医学部精神科入局、平成12年沖縄県立宮古病院精神科赴任、平成15年国立久里浜病院（現、久里浜医療センター）赴任、平成24年教育情報部長、令和4年精神科診療部長。

AA日本・A類（ノンアルコール）常任理事



ふるかわ よしあき
古川 芳昭 氏

四国地方更生保護委員会委員長

昭和61年法務省入省。福岡、東京、横浜、静岡、宇都宮、岐阜、仙台、千葉、大阪の保護観察所のほか、法務省保護局、地方更生保護委員会などで勤務。平成30年1月から法務省保護局更生保護振興課長、平成31年4月から大阪保護観察所長、令和2年4月から東京保護観察所長を経て、令和4年4月から四国地方更生保護委員会委員長（現職）。

プ ロ グ ラ ム

13：00～ 開会の挨拶・AAの説明

13：15～ 基調講演

講師：真栄里 仁 氏

13：40～

講師：古川 芳昭 氏

14：05～ 質疑応答

14：15～ AAメンバーの回復の体験談

15：00～ 休憩

15：15～ 関係者の話

- 法務省 中国地方更生保護委員会
- 高松保護観察所
- 島根あさひ社会復帰促進センター
- 高松刑務所
- 広島刑務所
- 松山刑務所

16：15～ 質疑応答

16：35～ 閉会の挨拶

16：40 終了

* プログラムは変更になる場合がございます。

お問い合わせ先

AA中四国セントラルオフィス（CSO）

広島市中区大手町3丁目6-13 ダイアパレス大手町603号

TEL：082-246-8608 FAX：082-249-1081

URL：http://ww1.enjoy.ne.jp/~cso/ E-mail：aa-cso@go7.enjoy.ne.jp

サービス時間 10：00～17：00（土・日・祝日休み）

